

令和5年度

「運営に関する計画」



大阪市立新東三国小学校

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は比較的、安全で落ち着いた学習環境を有するが、今後さらに安全性を高めるためにハード面(平成28年度より始めた遊具エリアの土壌改修等)とソフト面(いじめ、不登校などを保護者、地域とも連携しながら解消あるいは未然防止すること等)の両面についてバランスをとって推進していく必要がある。

- ・令和4年度の大阪市小学校学力経年調査では6年は全科目で大阪市の平均点を上回り、5年は国語科・算数科が大阪市の平均点を上回り、学力面について優良な成果をあげている。記述問題や「読むこと」の領域についても大阪市平均を上回っている。しかし、4年は全科目で大阪市の平均点を下回っていた。3年は国語科・理科は大阪市の平均点を上回っている。3、4、6年は「書くこと」に課題がみられた。

- ・体力面については全国体力・運動能力、運動習慣調査において、ほとんどの種目で全国平均と大阪市平均のどちらよりも上回っていたが、男女ともに握力・長座体前屈が下回り、男子はソフトボール投げ、女子では立ち幅跳び下回り、それぞれに課題がみられたので、課題解決の取組が必要である。

- ・「全国学力・学習状況調査」の結果より、平均正答率は、国語科、算数科、理科のすべてにおいて、大阪市平均、全国平均を大きく上回っている。平均無解答率は、国語科は大阪市平均より上回り、全国平均より下回っている。算数科と理科における無解答率は、大阪市平均、全国平均より下回り、良い結果であった。あきらめずに最後まで取り組もうとした姿勢がうかがえる。

- ・『総合的な言語活動を通して、読解力を中心とした思考力・判断力・表現力を育成する～国語科を中心として～』をテーマに研究授業に取り組み、児童の「主体的・対話的で深い学び」につながる授業をめざす。また、「読解力」「思考力」「表現力」を高めるために、資料を読んでまとめたり、自分の考えを書いたりする場を多く設定する。小学生からのリベラルアーツ教育を通して、総合的読解力を育成する。

- ・学校のきまりである「廊下・階段を走らない」「右側通行」の徹底を図るために、いろいろな場面での声かけに努めるようにしたが、十分とはいかない。階段に英語や九九のプレートを貼り、右側を意識できるようにしているが、さらに視覚的に「右側通行」を意識できるようにする必要がある。学校のきまりにおいては、継続しての指導が必要である。

- ・若手教員が増加しているので、若手教員育成を推進する必要がある。「学力向上支援チーム事業」のスクールアドバイザー(SA)と連携し、OJT(校内研修)の活性化を図る。

- ・新型コロナウイルスによる学校行事等への影響がある中での学力保障を図る必要がある。一人一台学習者用端末の持ち帰りやデジタルドリルの活用を図っていく。

- ・コロナ禍における地域や保護者との連携のしかたを検討する。

デジタル教材の活用

保護者への周知

地域の方との協働による防災活動

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の児童アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする。
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、令和 3 年度（94%）と同様に維持する。
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の大阪市小学校学力経年調査において、全学年、全科目の 9 割以上で大阪市の平均点を上回る。
- 令和 7 年度の英検 Jr.において、ブロンズ級受検者、シルバー級受検者の 80%以上が合格標準点を取る。そのことにより、高学年ではゴールド級受検者が 5 %以上になるようにする。
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査・国語科の「思考・判断・表現」に関する項目の平均正答率を、令和 3 年度（56.9%）より 5 ポイント増加させる。
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、令和 3 年度より 3 %増加させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- デジタル教材を活用した学習を週 2 回以上実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 80%以上にする。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。
- 令和 7 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、保護者の思いや願いを生かすよう、努めている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を令和 3 年度（79%）より 5 ポイント増加させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 75%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- ・ 年度末の児童アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的回答を例年同様に 90%以上を維持する。
- ・ 年度末の児童アンケートにおいて「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・ 年度末の児童アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。（R4 36.4%）
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。（R4 78%）
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。（R4 全国体力調査 64.5%）

#### 学校園の年度目標

- ・ 子どもの世界を広げ、思考を深めるため、文理融合的な内容を含む「総合的読解力育成カリキュラム」に取り組み、小学生からのリベラルアーツ教育を実施し、言語活動・理数教育を通して思考力・判断力・表現力などの育成に取り組む。「主体的・対話的で深い学び」の授業を行う。
- ・ 英検 Jr. を 4 年生以上の児童が受検し、ブロンズ、シルバー、ゴールドの各級受検者の平均点が、それぞれ全国の平均点並みにする。
- ・ 複数の小学生新聞を活用し、朝学習で視写に取り組む。小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか。」に「そう思わない」（難しいと思わない）「どちらかといえば、そう思わない」（どちらかといえば、難しいとは思わない）と答える児童の割合を 45%以上にする。（R4 平均 46%）
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。（R4 全国体力調査 64.5%）

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小学校）

- ・デジタル教材を活用した学習を週２回以上実施する。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準１を満たす教員の割合を８０％以上にする。

#### 学校園の年度目標

- ・デジタル教材を活用した学習を週２回以上実施する。
- ・ゆとりの日を月に１回以上設定する。
- ・校内研修を活性化させ、若手も経験年数の多い教員も一丸となって「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進する。
- ・「学校図書館の毎日開館」「特色ある図書館の活用」を実践するために地域の協力を得ながら、ボランティアによる開館の管理や朝の読み聞かせを実施する。
- ・生涯学習ルームや地域活動協議会との連携による安全で安心な教育コミュニティを形成する。

### 【その他】

### ３ 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立新東三国小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 達成状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を昨年度と同等以上にする。</li> <li>・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度末の児童アンケートにおいて「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、肯定的回答を例年同様に90%以上を維持する。</li> <li>・ 年度末の児童アンケートにおいて「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> <li>・ 年度末の児童アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 進捗状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「学校安心ルール」の徹底を行い、児童が安心して過ごせる教育環境の実現を図る。</p> <p style="text-align: right;">(安全教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度末の児童アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的回答を例年同様に90%以上を維持する。</li> <li>・ いじめアンケートを年3回行い、「ある」と回答した児童に聞き取りをしたり、集団へ指導したりすることを100%行う。すぐに解決できない事案については、いじめ対策委員会に報告し、いじめの解消に向けて全教職員での取り組みを100%行う。なお、必ず記録を残す。</li> <li>・ 毎月の生活指導連絡会や子どもサポートネットやケース会議で児童の様子を報告し、共通理解を図り、組織的に課題への対応にあたる。</li> </ul> |      |
| <p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>異学年交流や係活動、委員会活動や道徳教育、地域交流などを通して、児童が自分の良さに気づく体験の場を設ける。</p> <p style="text-align: right;">(道徳教育の推進、人権を尊重する教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度末の児童アンケート「自分にはよいところがあると思いますか」の項目において、肯定的回答を80%以上にする。</li> <li>・ 全国学力学習状況調査「人の役に立ちたいと思いますか」の項目において、肯定的回答を90%以上で維持する。</li> </ul>                                                                                                                                    |      |

|                                                                                                                                                                                                     |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の児童アンケートにおける「気持ちのよいあいさつをしている」の項目について、肯定的回答を80%以上にする。</li> <li>・児童会を中心として、地域や保護者と連携し、あいさつ運動を年3回行う。</li> <li>・各委員会が児童会目標の達成に向けた活動を年1回以上企画・運営する。</li> </ul> |  |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>                                                                                                                                                                      |  |
| <p>次年度への改善点</p>                                                                                                                                                                                     |  |

## 大阪市立新東三国小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|      |                      |                         |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した       | B: 目標どおりに達成した           |
|      | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 達成状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を昨年度以上にする。(R4 41.1%)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R4 78%)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。(R4 全国体力調査 64.5%)</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの世界を広げ、思考を深めるため、文理融合的な内容を含む「総合的読解力育成カリキュラム」に取り組み、小学生からのリベラルアーツ教育を実施し、言語活動・理数教育を通して思考力・判断力・表現力などの育成に取り組む。「主体的・対話的で深い学び」の授業を行う。</li> <li>・ 英検 Jr. を 4 年生以上の児童が受検し、ブロンズ、シルバー、ゴールドの各級受検者の平均点が、それぞれ全国の平均点以上になるようにする。</li> <li>・ 複数の小学生新聞を活用し、朝学習で視写に取り組む。小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか。」に「そう思わない」(難しいと思わない)「どちらかといえば、そう思わない」(どちらかといえば、難しいとは思わない)と答える児童の割合を 45%以上にする。(R4 平均 46%)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。(R4 全国体力調査 64.5%)</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                   | 進捗状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>子どもの世界を広げ、思考を深めるため、文理融合的な内容を含む「総合的読解力育成カリキュラム」に取り組み、小学生からのリベラル・アーツ教育を実施し、言語活動・理数教育を通して思考力・判断力・表現力などの育成に取り組む。「主体的・</p> |      |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>対話的で深い学び」の授業を行う。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実)(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか。」に「そう思わない」(難しいと思わない)「どちらかといえば、そう思わない」(どちらかといえば、難しいとは思わない)と答える児童の割合を 45%以上にする。(R4. 46%)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「読むこと」「記述式回答形式」の平均正答率を「読むこと」70%「記述式回答形式」60%以上にする。(R4.「読むこと」71%「記述式」54.7%)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 35%以上にする。(R4 36. 4%)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
| <p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>継続して全学年で英語音声指導に取組むと共に、教員の英語指導力の向上のために積極的な研修・研究授業を推進する。また、児童の英語力を向上させ、英語が楽しいと感じられるようにする。(英語教育の強化)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修計画にそって、英語の公開授業を年に 3 回以上実施する。</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R4. 78%)</li> <li>・ 児童アンケート「英語が楽しい」と回答する児童を 80%以上にする。</li> <li>・ 英検 Jr. において、ブロンズ、シルバー、ゴールドの各級受検者の平均点を、それぞれ全国の平均点以上にする。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |
| <p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>子どもたちの健康増進のために、様々な取り組みを進める。体を動かすことに喜びを感じ、進んで体力づくりに取り組む子どもを育てる。また、「食に関する指導の年間計画」に基づき、食に関する児童の興味関心を高める。睡眠・清掃などの生活習慣などに焦点をあて、日々の生活を見つめられる子どもを育てる。SDG s の取組が日々の生活へとつながるようにしていく。(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>指標</p> <p>【運動】・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。(R4 全国体力調査 64.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に運動に励むように、年 3 回以上の運動週間を設定する。</li> </ul> <p>【食育】・ 学年ごとに作成する「食に関する指導の年間計画」に基づき、学年ごとの目標を設定し、年間 3 時間程度の食育の学習を行い、食に関する児童の興味関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学級で給食目標や給食だより等を用いて、食に関する指導を月 1 回以上行う。</li> <li>・ 「学校では、食べ物や栄養について学んでいる」という項目の肯定的な回答割合を 85%以上にする。</li> </ul> <p>【清掃】・ 委員会児童による清掃チェックを学期に 1 回以上行い、環境整備に努め、清掃を進んでおこなう児童を育てる。</p> <p>【健康】・ 毎週の清潔調べで、ハンカチ・ティッシュを持ってくる児童の割合を</p> |  |

|                                                                                                                                                                                                               |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>85%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級でほけんだよりや保健の月目標等を用いて、健康に関する指導を月1回以上行う。</li> <li>・健康的な生活習慣について、児童や保護者の意識を高めていくために、「生活ふりかえりカード」を活用した取り組みを年に2回行い、保健だよりで結果を知らせると共に、児童へ指導する。</li> </ul> |  |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>                                                                                                                                                                                |  |
|                                                                                                                                                                                                               |  |
| <p>次年度への改善点</p>                                                                                                                                                                                               |  |
|                                                                                                                                                                                                               |  |

## 大阪市立新東三国小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

|      |                       |                          |
|------|-----------------------|--------------------------|
| 評価基準 | A : 目標を上回って達成した       | B : 目標どおりに達成した           |
|      | C : 取り組んだが目標を達成できなかった | D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 達成状況 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材を活用した学習を週 2 回以上実施する。</li> <li>・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 80%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材を活用した学習を週 2 回以上実施する。</li> <li>・ゆとりの日を月に 1 回以上設定する。</li> <li>・校内研修を活性化させ、若手も経験年数の多い教員も一丸となって「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進する。</li> <li>・「学校図書館の毎日開館」「特色ある図書館の活用」を実践するために地域の協力を得ながら、ボランティアによる開館の管理や朝の読み聞かせを実施する。</li> <li>・生涯学習ルームや地域活動協議会との連携による安全で安心な教育コミュニティを形成する。</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 進捗状況 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>ICT 機器を活用して、考えを表現するためのプレゼンテーションを行ったり、一人一台学習者用端末を活用した学習に取り組んだりする。<span style="float:right">(ICT を活用した教育の推進)</span></p> <hr/> <p>指標 ICT 機器を活用して、自分の考えをプレゼンテーションしたり、他者の考えを受けて、意見交流する場を設定したり、デジタル教材を活用したり、プログラミングに取り組んだりする総時数を、1 年は年間 10 時間以上、2～3 年は年間 12 時間以上、4～6 年は年間 15 時間以上実施する。</p> |      |
| <p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」にそって、負担軽減に向けた様々な取組を推進する。<span style="float:right">(働き方改革の推進)</span></p> <hr/> <p>指標 ・ゆとりの日を月に 1 回以上設定する。</p>                                                                                                                                                             |      |
| <p>取組内容③【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校内研修を活性化させ、若手も経験年数の多い教員も一丸となって「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを推進する。全員公開研究授業の中で、お互いに学びあい、日々の授業改善にいかしていく。<span style="float:right">(教員の資質向上)</span></p>                                                                                                                                                  |      |

|                                                                                                                                                                                                                                        |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員公開研究授業を年間 1 回以上行う。</li> <li>・ メンターを中心に、指導法の研修・研究を進め、年間 10 回以上の公開研究授業を実施する。</li> <li>・ 日々の授業改善につなげるために、研究討議会で話し合ったことを 100% 記録・整理する。</li> <li>・ 思考ツールを活用した授業を年間 1 回以上行う。</li> </ul> |  |
| <p>取組内容④【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>「学校図書館の毎日開館」「特色ある図書館の活用」を実践するために、図書委員会や地域のボランティアによる開館の管理や朝の読み聞かせを実施する。</p> <p style="text-align: right;">(学校図書館の活性化)</p>                                                                             |  |
| <p>指標</p> <p>月 1 回以上、読書を家庭学習にする。また、年 2 回以上、読書週間を実施する。</p>                                                                                                                                                                              |  |
| <p>取組内容⑤【基本的な方向 9、家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <p>生涯学習ルームや地域活動協議会との連携による安全で安心な教育コミュニティを形成する。</p> <p style="text-align: right;">(教育コミュニティづくりの推進)</p>                                                                                       |  |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方々との交流を全学年で行う。</li> <li>・ 地域や保護者との協働行事として、防災訓練、引き渡し訓練、新東三国イングリッシュデイを計画的に実施する。</li> </ul>                                                                                         |  |
| <p style="text-align: center;">年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>                                                                                                                                                                             |  |
|                                                                                                                                                                                                                                        |  |
| <p style="text-align: center;">次年度への改善点</p>                                                                                                                                                                                            |  |
|                                                                                                                                                                                                                                        |  |